

内潟療護園 福祉課

生活支援

1 実施状況

- ① ノーリフトの推進:床走行式リフターを1台追加導入し、各棟に1台置くことで業務の効率化の向上と、利用者の安全、安心、安楽な環境を整備するとともに、職員の腰痛対策・予防につなげることができた。
- ② 便秘解消と自然排便を促す排便ケアの取り組みを全職種が連携して進めている。今年度は全利用者に目を向けることで、調整が必要な利用者をピックアップできて成果を出せるまでになった。来年度も継続して行っていく。
- ③ 新型コロナウイルス感染拡大により、恒例行事や外出に制限がかかり、利用者の楽しめる機会が減少することになった。来年度に向け感染予防に努めたうえで、利用者がストレスなく楽しめるよう、何ができるか各係・委員会で話し合い計画を進めていく。
- ④ 職場内研修として「勉強会」は行うことができたが、職場外研修が中止されることが多く例年に比べて少なかった。来年度は動向を見ながら感染予防に努めて参加できるよう進めていく。

2 利用状況

① 施設入所支援・生活介護の利用、入院、外泊の延べ日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	前年比
入所支援	930	956	930	931	953	922	961	930	947	956	868	955	11,239	936.6	23
入院日数	0	5	0	11	8	8	0	0	14	5	0	6	57	4.75	▲34
外泊日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	▲34
稼働率	103.3	102.8	103.3	99.9	102.5	102.4	103.3	103.3	101.8	102.8	103.3	102.7		102.6	
生活介護	682	713	682	690	713	682	713	682	707	713	620	713	8,310	692.5	▲23
稼働率	103.3	103.3	103.3	100.0	103.3	103.3	103.3	103.3	102.5	103.3	103.3	103.3		103.0	
在宅利用	0	0	3	6	2	5	2	0	3	1	0	4	26	2.2	1

※ 在宅利用：在宅からの生活介護利用者

② 年 齢

年齢 性別	18～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～79	80～	合計	平均
男	0	4	3	3	6	3	5	0	21	56.6
女	0	0	0	2	1	3	3	1	10	64.3
合計	0	4	3	5	7	6	8	1	31	59.0

③ 身体障害者手帳障害等級

年齢 性別	1 級	2 級	3 級	合計
男性	19	2	0	21
女性	8	2	0	10
合計	27	4	0	31

④ 市町村別利用者数

	青森市	弘前市	五所川原市	黒石市	つがる市	平川市	中泊町	鶴田町	深浦町	外ヶ浜町	蓬田村	合 計
男性	2	1	3	1	6	0	4	2	0	1	1	21
女性	1	0	2	0	1	1	3	1	1	0	0	10
合計	3	1	5	1	7	1	7	3	1	1	1	31

⑤ 退所区分状況

理由 年度	在 宅		他施設等に転所		長期入院		死 亡		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
H30 年度	0	0	0	0	0	0	0	1	1
R1 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R2 年度	0	0	0	0	0	0	2	0	2
合計	0	0	0	0	0	0	2	1	3

⑥ 在所期間の状況

期間 性別	1 年未満	1 年以上 3 年未満	3 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上	合計
男性	0	3	3	4	2	9	21
女性	0	0	2	1	2	5	10
合計	0	3	5	5	4	14	31

⑦ 障害支援区分

区分 性別	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
男性	0	0	0	0	5	16	21
女性	0	0	0	0	2	8	10
合計	0	0	0	0	7	24	31

平均障害支援区分 5.77

ショートステイ

1 実施状況

障害者総合支援法による障害者の短期入所事業及び介護保険法による基準該当短期入所（中泊町）を 7 床の定員で行っている。今年度は延べ 2,015 人の利用、前年比 273 人増であった。

2 利用状況（延べ日数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障がい者	174	197	188	165	151	191	176	150	151	151	140	181	2,015
高齢者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	174	197	188	165	151	191	176	150	151	151	140	181	2,015
稼働率	82.9	90.8	89.5	76.6	69.6	91.0	88.0	71.4	69.6	69.6	71.4	83.4	79.5

日中一時支援

1 実施状況

障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業の中の一つのサービスで、日中障害福祉サービス事業所、障害者支援施設において、障害者等に活動の場を提供し、見守り、社会に適応するための日常的な訓練等を目的とするものであるが利用はなかった。

2 利用状況

利用実績なし

医務

1 実施状況

- ① 定期健診の実施（夜勤者年 2 回）
- ② 中泊町健診・結核検診・婦人科検診の実施
- ③ 感染予防対策の実施・マニュアルの再確認
- ④ 職員の健康管理への助言

2 評価

- ① 新型コロナウイルス感染症に関しての情報収集を行い、当保健所管内での感染発生時には、特に注意を払って、その都度対応策を協議した。
- ② 令和 2 年度、入所利用者入院は 5 名。入院延べ日数 50 日。早期対応することで前年度より 57 日減少している。今後も速やかな治療ができるよう早期発見・早期受診に努め、長期入院の予防に努めたい。
- ③ 高齢化と障がいの重複により病気に対する抵抗力が低下してきている利用者が増えている。病気を発症・再発をすると急速に重症化しやすい傾向にある。そのため、特有の症状だけでの判断ではなく、全身の状態を観察しながら対応していく。
- ④ 感染症に関しては、尿路感染症等による発熱や体調不良、経口摂取していない方の誤嚥性肺炎等みられたが、インフルエンザに罹患する利用者はおらず、職員及び職員の家族内で感染症の発生あるも施設内に持ち込まれることなく利用者への感染もなく予防できた。今後も感染症が発生しても最小限にとどめるよう努力し、感染症を施設に持ち込まないことと感染拡大の予防を徹底していく。
- ⑤ 職員の健康管理について、健康診断の受診を促し、要再検査項目については助言し体調管理に努めた。体調不良による休養等はあったが当事者の状況把握に努め、適切な助言ができるよう努めた。今後も継続していきたい。

機能回復訓練「理学療法」

実施状況

① 機能回復訓練

月 1 回整形外科医 川口宏二氏、理学療法士 福島真人氏が来園し、診察や指導、助言をもとに、月曜日から金曜日（午前、午後）までは専従の上田法訓練士と補助員、土曜日と日曜日は福祉課職員の協力を得ながら主に上田法の施行を個別支援計画に沿って実施した。参加人数は利用者 25 名、ショートステイ利用者 4 名。上田法の実施によって過緊張を和らげ、関節可動域の拡大、腹部膨満の緩和、各関節拘縮予防効果がみられた。

- 川口先生の診察：延べ 23 名のうち車椅子等書類作成 18 名、職員の腰痛検査 31 名
- 福島理学療法士：延べ 10 名

② 補装具・自助具

各補装具の故障や破損、日常生活機能の変化等による補装具の購入・修理申請等の代行。また、自助具に関する相談、助言の実施。主な補装具は車椅子 31 名、下肢補装具 5 名の利用者が日常生活で使用している。申請は、車椅子・短下肢補装具の購入・修理申請等の代行。

- (1) 身体障害者手帳再交付：3 件
- (2) 修理交付申請：車椅子 15 件、下肢補装具 3 件
- (3) 定期的座圧測定の施行、車椅子ブレーキ、張調整、パンク等の修理施行

③ 福祉機器及び介護用品

安心、安全な移乗を目的とし、福祉機器（床走行リフト）のメンテナンス等を定期的に業者へ依頼し不備がないよう管理した。また、腰痛予防推進のため、今年度 1 台床走行リフトを増やした。

機能回復訓練「言語聴覚療法」

実施状況

- ① 多職種と連携し、安全な食事摂取ができるよう食事形態やとろみ剤の量の見直しを行った。
- ② 福祉課の協力を得ながら食前体操を継続して行い、利用者の気分転換を図りながら発声嚥下機能の維持に努めた。
- ③ 口腔内観察と口腔ケアの実施で誤嚥性肺炎の予防を図った。
- ④ 個別訓練では、できる機能の維持を目標に利用に合わせたプログラムで行った。

給食（内湯療護園）

実施状況

① バイキング食

利用者の嗜好や要望を取り入れたメニュー。年間行事やイベントに合ったメニューで季節を感じられるよう工夫し、バイキング食を楽しんでいただいている。

「実施日」： 毎週木曜日の昼食

「実施回数」： 令和２年度 30回

② 定食の日

令和２年 11 月からバイキングのマンネリ化を解消するため、外食風メニューで楽しんでいただいている。

「実施日」： 隔週木曜日の昼食

「実施回数」： 令和２年度 10回

③ 選択食

2 種類のメニューから好きな料理を選んでいただき、利用者を選ぶ楽しみが作り出せるように組み込んでいる。（主食・主菜のみ選択）

「実施日」： 毎週火曜日の夕食

「実施回数」： 令和２年度 38回

④ 丼の日

令和２年 11 月から選択食のマンネリ化を解消するため、利用者さんから要望の多い丼メニューのバリエーションを増やして提供している。

「実施日」： 隔週火曜日の夕食

「実施回数」： 令和２年度 11回

⑤ 麺類の提供

「実施日」： 毎週月曜日の昼食

暑さで食欲が落ちてしまいがちな時期には、麺類を 1 日増やして夏バテ、スタミナ不足にならないよう食事面からサポートしている。

⑥ 特別食・治療食

利用者の摂食状況、健康状態に合わせた食事の提供をしている。

「特別食」： 一口大食、ミキサー食、刻み食

「治療食」： 糖尿病食、痛風食、高脂血症食、ダイエット食

塩分を控えた食事の提供。だしのうま味を活かした調理で薄味を心がけて減塩に努めている。

⑦ 災害食

非常事態に備え、食材の備蓄、災害時を想定した「災害食体験日」を設け食事の提供を行い、利用者、職員共に災害に対する意識を高めるように取り組んでいる。

「実施日」： 不定期の昼食

「実施回数」： 令和２年度 1回

⑧ 衛生管理

日 常	・正しい手洗い、手指消毒の徹底 ・調理従事者の毎日の検温、健康、衛生チェック ・衛生手袋、マスクの着用による調理、盛りつけ、検食の保存 ・冷蔵庫、冷凍庫での温度管理をした食品保存 ・給食施設内温度、湿度管理をした給食業務 ・加熱調理時の食品の中心温度管理 ・食品ごとの、まな板、包丁、ボール、ザル等の用具の分別 ・配膳車、調理台、配膳台、取っ手の除菌 ・調理器具の洗浄、漂白 ・シンク、排水溝、床の清掃
週 間	・検収室、勝手口等の清掃及び食器棚、食品庫の整理整頓 ・冷蔵庫、冷凍庫、換気扇、洗浄機の清掃
月 間	・検便（10 月～3 月ノロウイルス検査含む） ・ねずみ、虫害の駆除
年 間	・サッシ、網戸の清掃及び大掃除

⑨ 行事食

月日	行事	主な料理
4/25	お花見会 (施設内開催)	花見弁当(焼き鳥、焼きそば、おにぎり、漬物、桜餅)、豚汁、ジュース
7/2	中庭昼食会 バーベキュー	牛カルビ、牛タン、焼き鳥、焼きそば、アスパラ肉巻き、野菜(玉葱、椎茸) おにぎり、漬物、ジュース
7/9	七夕 バイキング	七夕そうめん、おいなり、星形ハンバーグ、枝豆ととうもろこしのかき揚げ、卵豆腐 キャベツサラダ、七夕ゼリー
7/23	土用の丑	うなぎちらし寿司、天ぷら(海老、かぼちゃ、なす)、いんげんピーナッツ和え ほたての味噌汁、生和菓子
8/13～15	お盆 (夕食)	13日: 赤飯、銀鮭西京漬け焼き、おでん、ほやの水物、パイナップル、しじみ汁 14日: ちらし寿司、筍土佐煮、茶碗蒸し、お吸い物 15日: 天ぷら(海老、さつまいも、アスパラ)、豚の角煮、胡麻豆腐、素麺すまし汁 (13日～15日 ジュース、お酒)
9/1	災害体験食	中華丼(レトルト)、大豆とひじきの煮物、味噌汁、ゼリー
9/15	納涼祭 (施設内開催)	つくね串、チーズフランク、たこ焼き、だし巻玉子、おにぎり、素麺、大学芋 果物(ぶどう、オレンジ)、ジュース
10/1	バーベキュー (屋外)	牛カルビ、牛ハラミ、牛タン、焼き鳥、海老、ししゃも、おにぎり、豚汁、ジュース
10/1	十五夜	さつまいも、かぼちゃ、梨、ぶどう、マスカット、日本酒
10/29	寿司の日 バイキング	にぎり寿司5貫(蒸し海老、鮪、鯛、サーモン、ウニ)、茶碗蒸し、海老天そば オクラとキュウリのごま油和え、スイートパンプキン
12/24	クリスマス会	ちらし寿司、特大海老フライ、チキンステーキ、ローストビーフ、カップグラタン ナポリタン、ピザ、サーモンマリネ、ジュース
12/26	もちつき	お汁粉、大福餅
12/31	大晦日	昼食: 年越しそば(海老天ぷら)、野菜の卵とじ、珈琲ゼリー 夕食: にぎり寿司(海老、鮪、しめ鯖、ウニ、サーモン) おせち(伊達巻き、黒豆、昆布巻き、栗きんとん、かまぼこ、いくら) 煮しめ、なまこ、お吸い物
1/1～3	正月	1日: 鰻蒲焼、だし巻玉子、人参の子和え、ほうれん草カニカマ和え、粥の汁 2日: 天ぷら(海老、鱈、舞茸)、数の子と胡瓜の和え物、胡麻豆腐、お吸い物 3日: ちらし寿司、茶碗蒸し、五目なます、しじみ汁 (1日～3日 ジュース、お酒)
2/4	節分 バイキング	恵方巻き、海老フライ、五目煮豆、ミニおでん、温野菜サラダ オクラとシラスのさっぱり梅和え、胡瓜漬け
3/3	ひな祭り バイキング	ちらし寿司、天ぷら(海老、なす、さつま芋、アスパラ)、ホタテ酢味噌和え はまぐりのお吸い物、フルーチェ、甘酒

行事・外出・レクリエーション

月	日	行事・外出・レク	利用者	家族	職員
4月	8日	利用者懇談会	20名		26名
	20日	春のめり絵	3名		1名
	25日	施設周辺側溝清掃			8名
5月	5日	利用者懇談会	20名		19名
	16日	クレープ作り	22名		5名
6月	2日	利用者懇談会	26名		21名
	9日	ドライブ外出（小泊）	2名		2名
	16日	ドライブ外出（小泊）	2名		2名
	22日	ストックヤード周辺 草刈り			1名
	23日	ドライブ外出（市浦）	2名		2名
	30日	ドライブ外出（小泊）	2名		2名
7月	7日	ドライブ外出（市浦）	2名		2名
	8日	利用者懇談会	20名		15名
		昔語り（対馬てみ様）	11名		1名
	9日	ドライブ外出（市浦）	2名		2名
	16日	ドライブ外出（市浦）	2名		2名
	21日	ドライブ外出（市浦）	2名		2名
	22日	読み聞かせ（敦賀孝江様）	12名		1名
	24日	バナナボート作り	33名		5名
8月	28日	ドライブ外出（市浦）	2名		2名
	4日	利用者懇談会	21名		25名
	26日	読み聞かせ（敦賀孝江様）	8名		1名
9月	1日	利用者懇談会	20名		18名
	9日	昔語り（対馬てみ様）	9名		1名
	15日	夏祭り	36名		29名
	23日	読み聞かせ（敦賀孝江様）	8名		1名
10月	6日	利用者懇談会	19名		18名
	14日	昔語り（対馬てみ様）	8名		1名
	31日	ホットケーキ作り	26名		2名
11月	3日	利用者懇談会	21名		20名
12月	8日	利用者懇談会	21名		19名
	9日	昔語り（対馬てみ様）	11名		1名
	23日	読み聞かせ（敦賀孝江様）	13名		1名
	24日	クリスマス会	34名		29名
	28日	もちつき	18名		13名
		ふれあい作品展の出品作成（～1月）：新型コロナのため参加は中止			
1月	7日	利用者懇談会	21名		19名
	13日	昔語り（対馬てみ様）	10名		1名
2月	2日	節分	25名		8名
		利用者懇談会	21名		17名
3月	2日	ひな祭り	25名		8名
		利用者懇談会	18名		17名

※ その他 「パチンコ 火・木曜日」「カラオケ 土曜日」「余暇活動（トランプ・花札・将棋など）」を実施している

第二うちがた 福祉課

生活支援

1 実施状況

- ① 地域ニーズの把握のため、相談支援事業所との連携と共に、情報収集・情報提供に努めた。特にコロナ禍でのサービス利用について情報を共有しながら、利用者・家族のニーズに応えられるよう努めることができた。
- ② 職員のスキルアップを図るため、研修への派遣とテーマに沿い、職員自らが講師となり職場内研修を実施。またコロナ禍での研修であったため、オンライン研修を積極的に行った。
- ③ 利用者からのニーズが高い医療的ケアの体制を整えるため、青森県で実施している喀痰吸引等研修に3名（第2号研修）の職員を派遣、認定特定行為業務従事者として認定を受けることができた。
- ④ 医療的ケアを必要とする生活介護利用者（通所）が、安心して過ごせるようショートステイ等の空き部屋を活用。また、コロナ禍でも感染症予防対策を強化しながらサービス提供を継続することができた。

2 利用状況

① 施設入所支援・生活介護の利用、入院、外泊の延べ日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	前年比
入所支援	930	961	930	961	953	908	954	900	937	959	868	961	11,222	935.2	▲24
入院日数	0	0	0	0	7	10	7	30	24	0	0	0	78	6.5	4
外泊日数	0	0	2	4	5	0	0	1	1	3	0	0	16	1.3	1
稼働率	103.3	103.3	103.3	103.3	102.5	100.9	102.6	100.0	100.8	103.1	103.3	103.3		102.5	
生活介護 (在宅)	794	933	759	829	809	773	857	809	804	837	710	828	9,642	803.5	85
	112	141	135	174	144	151	174	159	162	138	140	161	1,791	145	50
稼働率	120.3	120.7	115.0	120.1	117.2	117.1	124.2	122.6	116.5	121.3	118.3	120.0		119.5	

※定員 30 名 ※（在宅）：在宅からの生活介護利用者

② 年 齢

年齢 性別	18～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～79	80～	合計	平均
男	2	3	2	3	5	2	3	0	20	54.5
女	0	0	1	3	3	2	1	1	11	62.5
合計	2	3	3	6	8	4	4	1	31	57.3

③ 身体障害者手帳障害等級

年齢 性別	1 級	2 級	3 級	合計
男性	20	1	0	21
女性	9	1	0	10
合計	29	2	0	31

④ 市町村別利用者数

	青森市	弘前市	五所川原市	つがる市	鶴田町	深浦町	中泊町	鯺ヶ沢町	外ヶ浜町	藤崎町	合 計
男性	1	1	7	5	0	1	0	4	1	1	21
女性	2	0	2	2	2	0	1	1	0	0	10
合計	3	1	9	7	2	1	1	5	1	1	31

⑤ 退所区分状況

理由 年度	在 宅		他施設等に転所		長期入院		死 亡		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
H30 年度	0	0	0	0	1	0	0	0	1
R 元年度	0	0	0	0	0	0	0	1	1
R2 年度	0	0	0	0	1	0	0	0	1
合計	0	0	0	0	2	0	0	1	3

⑥ 在所期間の状況

期間 性別	1 年未満	1 年以上 3 年未満	3 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上	合計
男性	0	2	2	5	6	5	20
女性	1	0	1	3	1	5	11
合計	1	2	3	8	7	10	31

⑦ 障害支援区分

区分 性別	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
男性	0	0	0	0	1	19	20
女性	0	0	0	0	2	9	11
合計	0	0	0	0	3	28	31

平均障害支援区分 5.9

ショートステイ

1 実施状況

障害者総合支援法による障害者・障害児の短期入所事業を 8 床の定員で行ってきた。今年度は延べ 1,893 人の利用があった。前年比 225 人減である。

- ① 施設等への入所希望をした長期での利用が 6 名、在宅で他のサービス（生活介護）と組み合わせ、毎月定期的な利用者が 7 名（入所待機 3 名）とその他になっている。
- ② 長期・定期的な利用者の大半が、日中活動として施設の生活介護、ひだまり工房や他事業所へ通い余暇を過ごし、その人らしい生活を送っている。
- ③ 新規利用相談 3 名の受け入れにも対応した。うち 1 名は、新型コロナウイルス感染症に伴い、他事業所のサービス利用が困難となり受入れをしている。また、緊急的に利用相談のあったケース 2 名の受入れにも対応した。
- ④ 重度心身障害者や医療的ケアの多い利用者、長期での利用希望についての相談や希望が増えている。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症対策に伴い、一時的に受入れを休止せざるを得ない状況があり、利用者・家族の希望のすべてに沿えていない。

2 利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害者	120	135	159	169	169	146	148	148	151	165	171	194	1,875
障害児	0	0	2	4	4	2	2	0	4	0	0	0	18
合計	120	135	161	173	173	148	150	148	155	165	171	194	1,893
平均	4.0	4.3	5.3	5.5	5.5	4.9	4.8	4.9	5.0	5.3	5.8	6.2	5.1
稼働率	50.0	54.4	67.0	69.7	69.7	61.6	60.4	61.6	62.5	66.5	73.7	78.2	64.6
うち生活介護等利用者	0	14	41	44	33	27	22	7	38	8	33	38	305

日中一時支援

1 実施状況

障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業「日中一時支援」におけるサービスを提供しているが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、1人の利用もなかった。（五所川原市・つがる市・鶴田町）

2 利用状況

利用実績なし

医 務

1 実施状況

- ① 年2回の基本健診、利用者全員の結核検診、年1回の婦人科検診の実施
- ② 感染予防対策の実施・指導
- ③ 喀痰吸引の実地研修
- ④ 職員の健康管理についてアドバイス、指導、記録

2 評価

- ① 入院の延べ日数は前年度より16日増加となっている。早期発見、早期治療に努め、長期入院の予防につなげる。
- ② 喀痰吸引等制度に基づき実地研修を行い3名の職員が取得した。今後も医療的ケア（痰吸引）の取組みに努めて継続していく。
- ③ 感染症に関しては、新型コロナウイルスを中心に伝達・実地研修を行った。全職員の協力により、感染症が持ち込まれることなく過ごすことができています。今後もさらに感染が拡大しているので初期症状に注意しながら基本的予防対策を継続していく。

機能回復訓練「理学療法」

① 機能回復訓練

一人ひとりの障がいや要望に応じて気軽に参加できる訓練を心がけ、日常生活動作訓練、運動療法を継続的に行っている。月1回、整形外科医 川口宏二氏（12月まで）の診察と、隔月で理学療法士 福島真人氏（6月から）による指導、助言をもとに、上田法を主体として自動運動や他動運動、可動域訓練、ポジショニングなどを各部署の協力を得ながら実施。

訓練の参加者は33名（施設入所者24名、ショートステイ5名、通所4名）で過緊張や痙縮の緩和や維持に効果がみられ、関節可動域の減少予防等にも効果がみられた。

② 補装具・自助具

補装具の故障や破損、身体機能の変化により補装具の交付申請・修理申請を代行し、自助具に関する相談や助言を実施。主要な補装具は車椅子（電動式を含む）で、現在35名の利用者が日常生活で使用している。主に座布、シート等の張替え、ブレーキ、ステップ、タイヤ交換、シートベルト等の修理申請である。

- (1) 交付申請（再交付含む） 車椅子 5件 下肢装具 1件
- (2) 修理申請 車椅子（電動含む） 10件
- (3) その他 申請以外にも小さな修理や利用者にあった自助具の購入等支援・助言なども行っている。

③ 福祉機器及び介護用品

- (1) 安心・安全な介護と業務の省力化を目的とし、利用者が快適な生活を送ることができるよう介護用品の選定や工夫も行った。
- (2) 福祉機器の定期点検・修理（ベッド、床走行リフト、コールボタン等）を随時行った。

機能回復訓練「言語聴覚療法」

- ① 多職種と連携し、とろみ調整剤の量の見直し・調整を行った。むせこみが強い利用者は、随時食形態の見直しも行い安全な食事提供に努めた。
- ② 福祉課協力のもと、食前体操を実施して利用者の気分転換を図るとともに、発声嚥下機能の維持に努めた。
- ③ 個別訓練では、日常生活訓練につながるように計画を立て、できる機能の維持に努めた。

給食（第二うちがた）

実施状況

利用者の声を聞き、毎日が楽しみになるような手作りで愛情のこもった食事作りを心がけている。

① 軟菜食の実施

介護・医務・給食の連携により、一人ひとりの栄養状態・身体状態・本人の食欲などを検討し、軟菜食を提供することができた。

② 療養食の実施

栄養マネジメントを実施し、その人の健康状態に合った食事提供ができ、健康管理に係わることができた。

□ 療養食の種類と人数（入所支援）

種類	糖尿食	胆石食	脂質異常食	合 計
人数	6 名	1 名	5 名	12 名

③ バイキング食

利用者の様々な嗜好を給食部全員で把握し、全体メニューにできないどんな小さな要望であっても、その結果をできるだけ早く献立に取り入れるように対応した。

「実施日」： 毎週木曜日の昼食

「実施回数」： 令和 2 年度 39 回

④ 選択食

2 種類の献立の中から好きな料理を選んでいただき、食事に変化を持たせるとともに、選ぶ楽しみを作り出すように組み込んでいる。（主食・主菜のみ）

「実施日」： 毎週火曜日の昼食

「実施回数」： 令和 2 年度 43 回

⑤ 麺 類

利用者からの「麺類をもっと食べたい」という要望を聞いて取り組んでいる。

「実施日」： 毎週水曜日の昼食

「実施回数」： 令和 2 年度 51 回

⑥ ひだまり工房の食事（昼食）

職員を通して、利用者の要望と嗜好の把握に努めている。さらにより良い食事の提供に心掛けている。

- 実施日：月曜日～土曜日 ■ 料理：一汁三菜、 麺類：毎週水曜日
- 特別食・治療食：利用者の摂食状況に合った食事提供（お粥食・代替食・治療食）
- 行事食：旬の食材を提供
秋祭り：のっけ丼・和え物・ケーキ・しじみ汁
クリスマス：お寿司・ローストチキン・ローストビーフ・ケーキ
ひな祭り：鉄火丼・菜の花からし和え・ケーキ・あさり味噌汁

⑦ 行事食

□ 令和元年度の行事食

月日	行事	主な料理
4/23	春の昼食会	エビフライ、茄子のはさみ焼、炊き込みご飯、だし巻玉子、うどの味噌汁、うどん、桜餅 (新型コロナ予防対策のため花見会は中止)
7/7	七夕	ちらし寿司、茶碗蒸し、揚げなす
7/9	夕涼み会	おにぎり、焼き鳥、焼きそば、たこ焼き、ウインナー、ジュース
8/13～15	お盆	茶わん蒸し、じゅんさい、天ぷら、だし巻玉子、うなぎ、数の子、エビフライ
10/1	十五夜	栗ご飯、茶碗蒸し、かき揚げ、豚肉ママレード煮、あんかけ焼きそば、サンマの塩焼き、果物
11/5	お寿司の日	お寿司・茶わん蒸し・味噌汁
12/24	クリスマス	ピザ、寿司、フライドチキン、牛ステーキ、ウインナー、お好み焼き、白子の味噌汁
12/31	大晦日	お寿司、人参の子和え、昆布巻き
1/1～3	お正月	天ぷら、うなぎちらし、鉄火丼、だて巻き、けの汁、昆布巻き、茶碗蒸し、なます、煮しめ 栗きんとん
1/7	鏡開き	おしるこ、きなこ
2/2	節分	太巻き、茶碗蒸し、ほうれん草和え物、しじみ汁
3/4	ひな祭り	鉄火丼、菜の花からし和え、ケーキ、抹茶ゼリー、あさりの味噌汁

⑧ 衛生管理

日 常	・衛生手袋、盛りつけ、検食の保存 ・冷凍庫、冷蔵庫の温度管理 ・給食施設内温度、湿度管理 ・加熱調理時の食品の中心温度管理 ・調理従事者の毎日の健康、衛生チェック ・食品ごとの、まな板、包丁、ボール等の用具の分別 ・洗浄・漂白 ・調理台、配膳台、シンク、床の掃除、取っ手の除菌 ・取っ手の除菌
週 間	・調理機器、側溝、検収室、勝手口等の掃除 ・食器棚、食品庫の整頓
月 間	・冷凍庫、冷蔵庫の清掃 ・検便
年 間	・大掃除（2回） ・サッシ、網戸の掃除 ・ねずみ、昆虫の駆除

福祉総合相談センター

実施状況

障がいのある方やその家族を含めた地域住民のみなさんに寄り添い、住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるよう、地域に身近な「福祉よろず相談所」として日常生活全般に関する総合相談支援を行った。新型コロナウイルスの感染予防対策により、関係機関と連携した地域づくり等の取り組みは実施できなかった。

相談支援事業（指定特定相談支援事業・指定一般相談支援事業・指定障害児相談支援事業）

1 実施状況

① 指定一般相談支援事業

地域生活支援事業における障害者相談支援事業を五所川原市、つがる市、中泊町より事業を受託して実施した。利用者や家族に対する福祉制度の説明やサービス利用に関する相談受け付け等、ニーズに合わせて支援を行った。地域移行支援及び地域定着支援における新規の対象者はいなかった。

② 指定特定相談支援事業、指定障害児相談支援事業

西北五管内の2市4町（五所川原市、つがる市、中泊町、鶴田町、鰺ヶ沢町、深浦町）のほか、管外市町の利用者に対してサービス等利用計画の新規作成や変更、及び定期的なモニタリングを実施した。4月より相談支援専門員が3名（1名は兼務）体制となったが丁寧な対応に努めた。訪問や来所（玄関対応）での相談業務においては、新型コロナウイルスの感染予防対策を十分にとりながら実施した。令和2年度は235名（年度内の終了件数を含む）の支援を行った。

③ その他

つがる市及び五所川原市より障害支援区分認定調査を受託して実施した。また、令和2年度は所属しているつがる西北五広域連合地域自立支援協議会相談支援部会での研修会や事例検討等の実施はなかった。その他の研修は、座学とWeb開催を状況に合わせて調整しながら参加し、質の向上に努めた。

2 利用状況

① 相談方法（サービス等計画作成に伴う相談を含む）

	訪 問	来 所	電話（メール含）	その他	合 計
五 所 川 原 市	273	7	207	27	514
つ が る 市	151	11	130	9	301
中 泊 町	103	3	92	8	206
鶴 田 町	27	0	7	0	34
鰺 ケ 沢 町	35	0	15	2	52
深 浦 町	11	0	1	0	12
そ の 他	36	0	7	3	46
件 数	636	21	459	49	1,165

② 相談者区分別（サービス等計画作成に伴う相談を含む）

	本 人	家 族	関係機関	その他	合 計
五 所 川 原 市	299	143	60	12	514
つ が る 市	203	51	38	9	301
中 泊 町	118	42	31	15	206
鶴 田 町	21	9	1	3	34
鯉ヶ沢町	36	5	10	1	52
深 浦 町	11	0	1	0	12
そ の 他	38	3	4	1	46
件 数	726	253	145	41	1,165

③ 相談内容別（サービス等計画作成に伴う相談も含む）

	障害福祉サービスの 利用について	障害や病状の 理解について	健康・医療について	その他	合 計
五 所 川 原 市	454	4	15	41	514
つ が る 市	278	2	3	18	301
中 泊 町	170	2	9	25	206
鶴 田 町	32	0	0	2	34
鯉ヶ沢町	49	0	2	1	52
深 浦 町	12	0	0	0	12
そ の 他	46	0	0	0	46
件 数	1,041	8	29	87	1,165

④ サービス等計画作成件数（新規契約済み件数）

	五所川原市	つがる市	鶴田町	中泊町	その他	合 計
障がい者	6	3	1	2	2	14
障がい児	6	1	0	0	0	7

⑤ 障害者支援区分認定調査実施状況

		視覚障害	内部障害	脳性麻痺	脳血管疾患	頭部外傷	頸髄損傷	筋ジストロフィー	知的障害	精神障害	その他	合 計	
つがる市	男	3	0	1	6	0	2	1	2	0	8	23	32
	女	0	0	2	2	1	0	1	0	0	3	9	
五所川原市	男	1	1	4	6	0	2	0	1	1	2	18	29
	女	1	1	4	3	0	1	0	0	0	1	11	

※ 五所川原市の中に徳島県からの委託分を含む

地域交流室『うるしかわ「みんなのひろば」』

1 実施状況

地域の中で気軽に利用できる「みんなのひろば」であるが、令和 2 年度も新型コロナウイルス感染予防対策により貸し出しは中止としている。それに伴い周知活動においては、法人のホームページ記載のみとなっている。

2 利用状況

令和 2 年度は貸し出し中止のため実績はない。

ケアホームうるしかわ

1 実施状況

- ① ひだまり工房と連携して自己決定を尊重しながら、日常生活全般において安心・安全・快適に日々の生活を送れるよう支援。
- ② 第二うちがたのバックアップのもと利用者の健康管理や感染予防に努め、今年度も利用者への感染なく過ごすことができた。また、疾病時や定期受診時の通院の支援を実施。
- ③ 調理・洗濯・掃除等、日常生活における家事については、利用者個々の状態に合わせ、自分でできる事とできない事を見極めながら支援を行っている。
- ④ 利用者が安心・安全に使用できるよう、補装具の故障や破損、また必要に応じて各補装具の交付に伴う交付申請や修理申請の代行なども実施。
- ⑤ 外出や行事等は、利用者の要望に合わせた形で毎年実施してきたが、今年度はコロナ禍で実施することができなかった。
- ⑥ 毎年恒例の立佞武多は、コロナ禍の影響で祭りそのものが中止となり、観覧も運行への参加もできなかった。
- ⑦ コロナ禍で面会や外出を制限していたため、ストレスを感じている利用者が多く、トラブルなどもあったが、少しずつ感染予防に協力的になってきている。

2 利用状況

① 年 齢

年齢 性別	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70 以上	合 計	平 均
男性	0	0	1	3	2	1	7	58.7
女性	0	0	0	2	0	1	3	60.0
合計	0	0	1	5	2	2	10	59.1

② 障害支援区分

区分 性別	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	平均
男性	0	2	0	3	2	4.7
女性	0	0	0	1	2	5.6
合計	0	2	0	4	4	5.0

③ 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
利用人数	300	310	299	310	309	294	309	300	310	310	280	310	3,641	-11
稼働率%	100	100	99.6	100	99.7	98.0	99.7	100	100	100	100	100	99.6	-0.1

ひだまり工房

1 実施状況

- ① 喫茶店「ひだまり」では、かき氷・ドリップコーヒー・ロールケーキ等、一人ひとりが参加して手作りの楽しさと美味しさを味わい喜ばれている。
- ② 買物やドライブ外出について、感染予防のため内容の縮小及び中止、必要に応じてできる限り購入の機会を設けたことで多少なりとも喜ばれていた。
- ③ 野菜作りは苗を植え、水かけから草取り収穫までを活動として進め、収穫野菜はみんなで味わい楽しむことができた。
- ④ 生産活動について、感染予防の流れで野菜提供農家との交流を一時的に止め、乾燥作業を停止した。今後は感染状況を見極めて安全な製品づくりに向けすすめていく。

2 利用状況

① 障害支援区分

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	訓練	合計
男性	0	0	3	1	3	5	1	13
女性	0	0	0	1	3	4	0	8
合計	0	0	3	2	6	9	1	21

③ 年齢別状況

	20 歳未満	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65 歳以上	合計
男性	0	0	2	3	6	1	1	13
女性	0	0	0	2	3	1	2	8
合計	0	0	2	5	9	2	3	21

⑤ 利用状況

	延べ利用者数			稼働日数	1 日平均利用者数
	生活介護	自立訓練	合計		
4 月	239	13	252	26 日	9.6
5 月	294	12	306	26 日	11.8
6 月	354	13	367	26 日	14.1
7 月	367	9	376	27 日	13.9
8 月	334	12	346	25 日	13.8
9 月	314	13	327	26 日	12.6
10 月	320	14	334	27 日	12.4
11 月	274	12	286	25 日	11.4
12 月	363	13	376	26 日	14.5
1 月	274	12	286	24 日	11.9
2 月	329	12	341	24 日	14.2
3 月	355	13	368	27 日	13.6
合計	3,817	148	3,965	309 日	
月間平均	318	12	330	26 日	12.8

行事・外出・レクリエーション

① 第二うちがた

月	日	行事・外出・レク	利用者	家族	職員
4月	1日	町内会側溝掃除			3名
	2日	喫茶「もどき」	10名		8名
	3日	カラオケクラブ	5名		1名
	4日	書道クラブ	9名		1名
	7日	ゲーム大会（花札・トランプ）	9名		3名
	8日	カラオケクラブ	7名		1名
	9日	利用者懇談会	17名		8名
	10日	日中活動（絵カード当て）	9名		1名
	14日	書道クラブ	7名		1名
	15日	カラオケクラブ	10名		1名
	16日	日中活動（トランプ）	5名		1名
	22日	麻雀クラブ	4名		1名
	23日	お花見会（ドライ外出・ゲーム・カラオケ）	28名		20名
	28日	書道クラブ・麻雀クラブ	12名		2名
5月	3日	麻雀クラブ	4名		1名
	4日	カラオケクラブ	5名		1名
	5日	日中活動（絵カード）	6名		1名
	6日	ゲーム大会（たま入れ・オセロ・花札・絵カード）	11名		4名
	7日	散歩（前庭）	5名		2名
	9日	麻雀クラブ	4名		1名
	10日	カラオケクラブ	7名		1名
	12日	園芸クラブ（苗植え）	5名		2名
	13日	園芸クラブ・カラオケクラブ	10名		2名
	14日	喫茶「もどき」	11名		1名
		書道クラブ	9名		1名
	16日	麻雀クラブ	4名		1名
	20日	カラオケクラブ	8名		1名
	21日	書道クラブ	6名		1名
	23日	カラオケクラブ	7名		1名
	26日	日中活動（花札）	5名		1名
	27日	カラオケクラブ	6名		1名
	30日	カラオケクラブ・花札	14名		2名
6月	2日	ドライブ外出（市内散策）	2名		2名
		避難訓練	20名		16名
		園芸クラブ・書道クラブ	8名		2名
	3日	ドライブ外出（市内散策）	1名		1名
	4日	ドライブ外出（芦野公園）	4名		1名
		麻雀クラブ	4名		4名
	9日	ドライブ外出（芦野公園）	4名		4名
	10日	ドライブ外出（鶴田町周辺）	2名		2名
	11日	利用者の会活動 BBQ	24名		14名
	16日	ドライブ外出（市内散策）	4名		4名
		利用者懇談会	12名		8名
	17日	ドライブ外出（芦野公園）	4名		4名
	18日	園芸クラブ	2名		2名
		日中活動（カード・オセロ・花札）	11名		3名
	20日	紙芝居読み聞かせ「にゅうどうぼぼーん」「ねずみちょうじゃ」	11名		4名
	23日	麻雀クラブ	4名		4名
	24日	日中活動（カラオケ・絵カード）	11名		2名
	27日	カラオケクラブ	6名		1名
	30日	音楽クラブ（イントロ当て・音楽鑑賞）	11名		1名
7月	2日	書道クラブ	13名		1名
	6日	買物外出（市内）	2名		2名
	9日	夕涼み会	21名		20名
	12日	カラオケクラブ	9名		1名

	14日	麻雀クラブ	4名		1名
	18日	紙芝居読み聞かせ「あらしのうみのゆうれい」「いそおんながでる海」	8名		3名
	19日	音楽クラブ（音楽鑑賞）	9名		1名
	21日	喫茶「もどき」（ミスタードーナツ提供）	22名		15名
	25日	カラオケクラブ	6名		1名
	27日	カラオケクラブ	6名		1名
8月	2日	日中活動（絵カード）	5名		1名
	4日	日中活動（絵カード）	8名		1名
	7日	カラオケクラブ	11名		1名
	15日	紙芝居読み聞かせ「ニルスのふしぎなたび前編・後編」	11名		1名
	18日	喫茶「もどき」	10名		12名
	25日	麻雀クラブ	4名		1名
	26日	カラオケクラブ	7名		1名
9月	1日	水害研修（DVD）	18名		16名
	4日	カラオケクラブ	7名		1名
	8日	利用者の会活動 BBQ	22名		16名
	10日	結核健診	31名		
	15日	カラオケクラブ	6名		1名
	17日	日中活動（クイズ）	8名		1名
		喫茶「もどき」	13名		10名
	22日	書道クラブ	12名		1名
	26日	紙芝居読み聞かせ「王子様の公園探知・ゲンじいとかっぱ」	12名		1名
	29日	カラオケクラブ	7名		1名
10月	1日	買物外出（市内）	1名		1名
	6日	買物外出（エルム街周辺）	2名		2名
	8日	防犯訓練 避難訓練	8名		18名
	10日	コンビニ外出	2名		1名
	12日	カラオケクラブ	6名		1名
	13日	買物外出（エルム街周辺）	2名		2名
	15日	焼き芋会 買物外出（市内）	21名 1名		15名 1名
	16日	カラオケクラブ	9名		1名
	17日	紙芝居読み聞かせ「びっくりうさぎ」「ねずみちょうじゃ」	11名		1名
	20日	日中活動（花札・トランプ）・麻雀クラブ	9名		2名
	21日	日中活動（カード・クイズ）	8名		1名
	27日	麻雀クラブ	4名		1名
	29日	ハロウィンパーティー（仮装大会・ハロウィンドーナツ提供） 利用者の会活動 喫茶「もどき」	21名 15名		6名 18名
11月	3日	上映会「歌謡コンサート」	12名		1名
	4日	麻雀クラブ	4名		1名
	5日	書道クラブ カラオケクラブ	6名 8名		1名 1名
	10日	書道クラブ 麻雀クラブ	10名 4名		1名 1名
	12日	ノンアルコール居酒屋	29名		13名
	14日	インフルエンザワクチン接種	33名		37名
	17日	紅白対抗カラオケ大会	19名		3名
	18日	すごろくゲーム	20名		4名
	19日	日中活動（トランプ・花札）	7名		2名
	21日	紙芝居読み聞かせ「おねぼうなじゃがいもさん」「あひるのおうさま」	11名		1名
	25日	日中活動（トランプ・花札）	10名		2名
	28日	カラオケクラブ	9名		1名
12月	1日	日中活動（連想ゲーム・音楽鑑賞）	11名		2名
	2日	書道クラブ 麻雀クラブ	10名 4名		1名 1名
	3日	利用者の会 喫茶「もどき」	13名		10名
		利用者懇談会	16名		8名

	5日	カラオケクラブ	9名		1名
	9日	日中活動（すごろく）	12名		2名
	10日	麻雀クラブ	4名		1名
	16日	書道クラブ	9名		1名
	24日	クリスマス会・紙芝居読み聞かせ「みつごのこぶたのクリスマス」	33名		16名
1月		麻雀クラブ	4名		1名
	6日	麻雀クラブ	3名		1名
	7日	鏡開き・書初め大会	13名		3名
	13日	上映会「歌謡フェスティバル」	15名		1名
		喫茶「もどき」	13名		10名
	14日	日中活動（すごろく）	10名		1名
	20日	麻雀クラブ	4名		1名
	23日	紙芝居読み聞かせ「かさじぞう」「ふーちゃんのそり」	8名		1名
2月	27日	日中活動（花札・カラオケ）	7名		2名
	2日	節分会	16名		4名
	3日	麻雀クラブ	4名		1名
	6日	カラオケクラブ	8名		2名
3月	20日	紙芝居読み聞かせ「むかしむかしのひなあられ」「おひなさまになったにんぎょう」「なぜおひなさまをかざるの」	12名		1名
	2日	カラオケクラブ	9名		1名
	3日	ひな祭り（撮影会）	10名		2名
		上映会「コロッキものまね」	13名		1名
	9日	カラオケ大会	7名		1名
	18日	喫茶「もどき」（ドーナツ提供）	18名		15名
		利用者懇談会	18名		8名
	20日	紙芝居読み聞かせ「さくらのはなとうめのはな」「はるをよぶハーモニカ」	8名		1名
	23日	上映会「歌謡コンサート」	11名		1名
	24日	日中活動（花札）	3名		1名
	27日	カラオケクラブ	5名		1名
	30日	利用者の会総会	14名		3名
	31日	麻雀クラブ	4名		1名

② ひだまり工房

月	日	行事・外出・レク	利用者	家族	職員
6月		ドライブ・買物外出	12名		12名
7月		ドライブ・買物外出	21名		21名
8月		ドライブ・買物外出	15名		15名
9月		ドライブ・買物外出	11名		11名
10月		ドライブ・買物外出	9名		9名
11月		ドライブ・買物外出	8名		8名
12月		クリスマス会	16名		8名
2月		節分	15名		8名

③ ケアホーム

月	日	行事・外出・レク	利用者	家族	職員
5月	8日	コンビニ外出	1名		1名
	9日	コンビニ外出	1名		1名
	10日	花植え	5名		1名
	11日	コンビニ外出	1名		1名
	12日	コンビニ外出	1名		1名
	13日	コンビニ外出	1名		1名
	14日	コンビニ外出	1名		1名
12月	17日	コンビニ外出	1名		1名
	23日	クリスマス会（特別メニュー提供）	10名		4名

1 実施状況

令和 2 年度事業計画に基づき、支援を必要とする高齢者が安定して暮らすことができるよう、制度の枠にとらわれず、ニーズに応じた多面的な相談業務を実施した。

- ① 居宅介護支援・介護予防支援
一人ひとりのニーズに則した居宅サービス計画書を作成するとともに、サービス事業所や病院との連絡調整、担当者会議等を実施した。
- ② 要介護認定に係る訪問調査
中泊町から要介護認定調査を受託し実施した。
- ③ 研修参加
介護支援専門員としての資質向上を目指し、事業所内外の研修や勉強会に参加した。
今年度は新型コロナウイルス感染予防のため、オンラインでの研修が増えた。事業所で参加できるように環境を整えて出席した。
- ④ 主任介護支援専門員の個別ケア会議への出席
中泊町地域包括支援センターで主催している地域個別ケア会議にて、中泊町介護支援専門員連絡会からの代表として出席。司会進行を行った。
- ⑤ ケアプラン点検
自立支援に資する適切なプランになっているか、中泊町や各専門職とで基本となる事項を介護支援専門員と検証確認しながら介護支援専門員の「気づき」を促すとともに、「自立支援に資するケアマネジメント」とは何かを追求してその普遍化を図り、健全な給付の実施を支援する事業。年 2 回の開催でプランを提出し、自立支援の視点になっていると評価された。
- ⑥ 介護支援専門員実務研修実習の受入れ
介護支援専門員実務受講試験合格者を対象に 2 名の実習生を受入れ、ケアマネジメントの基礎技術やケアマネジメント業務の考え方について指導した。
- ⑦ 感染予防対策
手洗い、うがいの徹底はもちろんのこと、訪問前後の手指消毒等も実施。
- ⑧ その他
住宅改修に係る意見書を作成した。ホームページなどで情報を発信することで、来所される家族・電話での相談。令和 2 年度も病院から直接、事業所への相談もあった。
その他、関係機関との連絡調整はもちろんのこと、緊急時の受診の付き添いや援助などもニーズに合わせて支援した。また、当事業所は 2 名とも主任介護支援専門員であるため、町内の他居宅介護支援事業所からの相談もあり、介護支援専門員の相談や悩み等も聞いて支援をしている。

2 事業実績

① 要介護度別利用者構成

	事業対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
男性	0	0	1	3	12	2	2	1	21
女性	6	0	0	15	9	10	2	2	44
合計	6	0	1	18	21	12	4	3	65

② 新規相談件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	1	2	1	3	2	2	2	4	2	3	3	4	29

③ 介護認定調査委託件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	4	2	7	4	4	4	6	4	3	5	4	4	51

1 実施状況

住み慣れた地域で自立した生活を継続できるよう、入浴や食事、機能訓練、レクリエーション等のサービスを提供した。

- ① 機能訓練指導員による個別プログラムに沿った機能訓練を実施している。また、訓練室に滑車運動、ペダル漕ぎ運動、ハドマー（波形型エアマッサージ器）・訓練用階段を設置することにより、利用者が積極的に取り組んでいる。
- ② 食事を美味しく、楽しく、そして安全に食べさせることができるように、昼食前の口腔体操を継続して実施している。また、選択食を実施して利用者に喜んでもらった。
- ③ 日差しが強く眩しいことと、白内障を患っている利用者への配慮を兼ねてホールの窓にロールカーテンを設置した。
- ④ 居宅介護支援事業所や関係機関（保健・医療・福祉サービス）との連携を図り、コロナ禍でありながらも前年より4%（延べ293人）利用件数を増やすことができた。
- ⑤ 感染防止対策の実施として、送迎時にマスクや擦式手指消毒剤を活用し、外部からの感染防止を図った。事業所内ではこまめな換気や消毒、飛沫を防ぐパネルの利用等、でき得る対策を最大限実施し運営を継続した。

2 利用状況

① 介護保険被保険者

（延べ人数）

	介護保険被保険者								平均 要介護度	計	稼働日数
	事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
4月	54	23	112	119	181	79	72	17	1.9	657	26
5月	52	23	133	07	09	64	66	15	1.8	669	26
6月	56	26	135	125	202	34	64	35	1.8	677	26
7月	66	18	124	150	220	29	63	34	1.8	704	27
8月	44	20	99	137	189	31	83	32	1.9	635	25
9月	62	28	103	150	197	33	81	30	1.9	684	26
10月	52	29	105	174	203	36	72	30	1.8	701	27
11月	49	28	97	160	190	32	68	14	1.7	638	25
12月	44	31	102	149	208	32	63	13	1.7	642	26
1月	43	22	86	109	192	25	44	11	1.7	532	23
2月	53	24	99	124	192	61	57	12	1.8	622	24
3月	61	30	109	142	212	64	67	14	1.8	699	27
合計	636	302	1,304	1,646	2,395	520	800	257	1.8	7,860	308

② 障害者総合支援法による利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	7	4	1	5	4	12	14	12	12	7	10	5	93
機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	7	4	1	5	4	12	14	12	12	7	10	5	93

③ 介護度・区分別登録者数

	～64		65～69		70～74		75～79		80～84		85～89		90～94		95～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5	1	2	0	0	1	12
要支援 1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	2	0	2	1	0	0	0	3	5
要支援 2	1	0	0	0	1	0	1	2	0	3	1	4	0	1	0	0	4	10
要介護 1	0	0	0	0	1	1	3	1	2	1	2	5	0	2	0	0	8	10
要介護 2	1	1	1	0	0	0	2	2	1	1	3	3	0	2	0	1	8	10
要介護 3	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3	1
要介護 4	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3	3
要介護 5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
障がい	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	3	3	3	1	5	1	8	6	4	12	7	20	2	8	0	1	84	

1 実施状況

- ① 季節ごとに感染症予防や健康・生活に関する注意喚起を行い、利用者の健康な生活維持に努めた。その他、生活に関わることは関係機関と連携・協力し、利用者一人ひとりの生活を豊かにすることができた。また特に感染予防について徹底し、訪問前後に手指消毒、訪問毎にマスクを交換する等の対応をしながら訪問を実施した。
- ② 福祉ホーム入居者は高齢化・重度化が進み、身体機能の低下や認知機能の低下がみられてきた。低下している原因を分析し、支援内容を見直しながら本人らしく自立した生活ができるよう、法人内の各サービス事業所や関係機関と連携をして支援を実施した。
- ③ 在宅サービス利用者は個別性を重視。その人らしく生活ができるよう、職員一人ひとりがスキルアップするため研修を計画したものの、今年度は新型コロナウイルス感染予防のため外部研修への参加ができなかった。よって昨年度参加した研修資料を参考に職員自らが講師となり、職場内研修を実施して啓発に努めた。オンライン研修が開催されてからは、事業所内の環境を整えて随時オンライン研修にも参加した。
- ④ 職員が安全・安心して訪問が行えるよう定期的にミーティングを実施して業務内容を見直した。特に、うちがた工房とは連携を密に取り合い、月1回ミーティングを開催して業務内容の見直しや提案・改善を行った。
- ⑤ 中泊町内の訪問介護事業所と連携を図り、情報交換や普段疑問に思っている支援内容等、相談し合えるように体制を作った。

2 利用状況

① 指定訪問介護事業（介護保険）

（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
派遣回数	103	104	110	115	114	98	106	80	74	90	70	81	1,145

② 訪問型独自サービス（介護保険）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
派遣回数	9	9	8	9	9	9	13	13	13	13	12	14	131

③ 指定居宅介護事業（障害者総合支援）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
派遣回数	615	544	419	429	419	478	557	540	560	584	543	590	6,278

③ 介護度・区分別登録者数

	障がい	事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	11	0	0	0	1	1	0	0	0	13
女性	1	0	0	2	4	0	0	1	0	8
合計	12	0	0	2	5	1	0	1	0	21

1 実施状況

- ① コロナ禍でイベント開催中止や外出制限がある中でも、感染予防対策をしっかりと行ったうえで個別や少人数での外出を行った。一人ひとりのペースで買物をする事で、ストレス解消や心身のリフレッシュにつながる有意義な時間を提供することができた。
- ② 敷地内で野菜作りや花栽培を行い、水やりから収穫までを活動として進め、心身機能の活性化につなげることができた。またコロナ禍で地元の高校生とのひまわり栽培はできなかったが、「農地の環境保全と明るい町づくり」としてのひまわり栽培・収穫を利用者と共に行った。
- ④ エコキャップ活動は、地域のボランティア活動に結びついてきている。地元の学校や地域の人からの協力を得て、ペットボトルキャップ約 439 kg、約 182,500 個を収集することができた。ペットボトルキャップ 1 kgをゴミとして焼却しなければ CO2 を約 3 kg削減できる。(昨年度約 78,000 個)
- ⑤ 生産活動として、なたね・ひまわり油の生産販売を行っている。搾油作業は、安全に注意を払い、一人ひとりに合わせた作業を実施。また、勤労意欲の向上や自立生活を目的とした支援プログラムの提供を進めた。また、SHIRAKAMI LIFE DESIN さんと協働で、ミツロウひまわりワックスの試作品を製作した。
- ⑥ 創作活動や生産活動の労をねぎらい、前庭で行ったバーベキューはとても好評であった。

2 利用状況

① 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
生活介護	234	210	207	209	172	203	234	227	224	193	199	236	2,548	212.3
自立訓練	45	48	48	46	47	44	46	44	42	35	34	43	522	43.5
稼働日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	21	20	23	267	22.2
1日平均	12.7	11.2	11.6	11.1	9.5	11.2	12.2	12.3	11.6	10.9	11.7	12.1	11.5	

② 障害支援区分

	区分なし	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
男性	0	1	4	5	1	3	0	14
女性	0	0	2	1	2	0	0	5
合計	0	1	6	6	3	3	0	19

令和 2 年 3 月現在

地域密着型特別養護老人ホーム きりん館

特別養護老人ホーム きりん館

1 実施状況

① 地域との関わり

新型コロナウイルス感染症流行拡大により、休校措置や学校行事自粛などで、こども園・小学校・中学校・高等学校からの行事の案内や交流授業、奉仕活動等、すべてが中止となった。

また、ボランティアの対馬てみさんによる読み聞かせや唄も計画はしたものの、感染症予防対策として人が集まることを取りやめたことにより未実施となった。

② 感染予防対策

利用者からインフルエンザやノロウイルスなどの感染症発症はなかったが、2 月末からの新型コロナウイルス感染症流行により感染予防対応に力を注いだ。

③ 運営推進会議

通常であればサービス内容や活動状況の報告を行い、委員より助言をいただくことを目的に、2 カ月に 1 回、年 6 回開催していた。しかし、新型コロナウイルス感染症流行に伴い、参集しての会議を中止とし、国の指導に従い書面での開催となった。

2 利用状況

① 介護老人福祉施設入所者生活介護（定員 29 名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
延べ利用日数	841	866	869	899	881	851	871	848	879	883	808	898	10,465	872.1
入院日数	12	27	0	0	11	7	61	11	13	1	21	28	165	14
外泊日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
稼働率（%）	96.7	96.3	99.9	100.0	98.0	97.7	96.9	97.5	97.8	98.2	100.4	97.9		98.3

② 年齢

年齢 性別	65～69	70～74	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合計	平均
男性	0	1	2	3	2	0	0	8	84.9
女性	0	2	5	2	9	3	0	21	87.8
合計	0	3	7	5	11	3	0	29	87.0

③ 要介護度

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
男性	0	0	1	4	3	8
女性	0	2	10	4	5	21
合計	0	2	11	8	8	29

④ 退所区分

	死亡	入院	その他	合計
令和元年度	4	1	0	5
令和 2 年度	9	1	0	10

きりん館 短期入所

1 実施状況

- ① 介護保険法による特別養護老人ホーム併設型ユニット型短期入所事業を行い、専用居室 6 室を整備している。
- ② 中泊町、五所川原市在住の方々、延べ 87 人、1,071 日の利用があった。

2 利用状況

① 短期入所生活介護、予防短期入所生活介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
延べ利用日数	95	106	117	87	61	107	57	66	70	91	100	114	1,071	89
延べ利用者数	8	8	10	8	8	6	4	5	8	6	8	8	87	7.3
稼働率 (%)	52.8	57.0	65.0	46.8	32.8	59.4	30.6	36.7	37.6	48.9	57.5	61.3		48.9

② 年 齢

年齢 性別	65～69	70～79	80～89	90～99	100～	合計	平均
男性	0	1	10	0	0	11	83.5
女性	0	1	13	8	0	22	88.0
合計	0	2	23	8	0	33	

③ 要介護度

	要支援 1・2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
男性	0	3	4	4	2	2	15
女性	3	6	6	3	4	2	24
合計	3	9	10	7	6	4	39

※介護保険の場合、要介護認定の期間が 6 カ月から最長 36 カ月まで認められており、利用期間中に要介護度が変わり、要介護度を 2 以上持っている方がおります。

きりん館 医務

1 実施状況

- ① 感染予防対策の実施・指導
- ② 結核検診の実施
- ③ 職員の健康管理についてのアドバイス・指導
- ④ 看取り介護の実施

2 評 価

- ① 日々の健康管理や適切な受診を実施することにより、長期の入院者を減少させることができた。
- ② 新型コロナウイルス感染症対策として予防マニュアルの作成、勉強会・会議等の開催、職員へは「持ち込まない」ための指導や管理を行った。
- ③ 看取り介護への移行者は現在 4 名。家族・医師・介護・給食と連携しながら穏やかな終末期を過ごせるよう支援した。

障害者福祉ホーム きりん館

1 実施状況

今年度は入・退居が各 1 名あり、退居の 1 名の方は重度化により内潟療護園の短期入所利用者となった。
また、入居 1 名の方は冬期間自宅での生活が困難となり、緊急受入れ的な利用であった。ホームヘルプサービスやうちがた工房の生活介護・機能訓練サービスを利用して、利用者一人ひとりの自己決定による生活を保障し、地域で自立した生活を送れるよう支援した。

2. 利用状況

年齢 性別	30～39	40～49	50～59	60～69	70 以上	合計	平均
男性	0	1	2	7	0	10	55.3
女性	0	0	0	1	0	1	63.0
合計	0	1	2	8	0	11	54.7

3. 障害支援区分

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計	平均
男性	1	0	6	1	1	1	10	3.2
女性	0	0	1	0	0	0	1	3.0
合計	1	0	7	1	1	1	11	3.1

中泊町地域包括支援センター

中泊町地域包括支援センターは、高齢者などが住みなれた地域で安心してその人らしい生活ができるよう「医療・介護・介護予防・住まい・生活支援」が一体的に提供される地域包括ケアシステムを推進し支援を行った。また、飛び地である小泊地域住民が相談しやすいように、小泊地域は中泊町地域包括支援センターこどもり支所を拠点にした。

当法人は中泊町から委託を受け、主任介護支援専門員、介護支援専門員、社会福祉士など 8 名のスタッフを派遣している。

1 実施状況

① 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）

65 歳以上の全ての高齢者に、年齢や心身の状況などに関わらず、要介護状態となっても生きがいや役割をもって生活ができる地域づくりを目指し必要な支援を行った。

■ 住民運営の通いの場「いきいき百歳体操」の立ち上げ支援・継続支援

体操などを行う住民主体の通いの場の立ち上げ支援を 1 カ所行い、現在活動している 8 カ所の継続支援を行った。

② 包括的支援事業（総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防ケアマネジメント業務）

介護相談にととまらず様々な相談に応じ適切に保健・医療・福祉サービス機関や制度の利用につなげる支援を実施した。高齢者の虐待などの事例を把握した場合は町と連携し速やかに対応・支援を行った。相談・通報受理件数は 5 件、虐待の事実を認めた 1 件（町外施設入居）は居住地市町村に引き継ぎ、他 2 件は福祉課職員と同行訪問を行い、モニタリングし終結とした。その後は権利擁護対応や包括的継続的ケアマネジメントにて支援をしている。また、セルフネグレストの事実を認めた事例は、高齢者虐待に準ずる対応にて緊急保護して支援を継続している。

中泊町介護支援専門員連絡会（介護支援専門員を対象）を 2 回開催し、行政との連絡調整や勉強会・研修会を開催し、平均 9 名の参加者があった。

③ 地域ケア会議の推進

地域の支援者を含めた多職種による専門的視点を交え、個別事例の分析を通じてその解決とともに地域に共通した課題を明確にし、必要な支援策や基盤整備につなげるために地域ケア会議を開催した。

④ 指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント

介護予防が必要な人（要支援 1・2・事業対象者）に対して、その人に合った介護予防計画を作成した。

⑤ 認知症施策の推進

認知症になってもできる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わり、早期診断や早期発見に向けた支援を行う認知症初期集中支援チームを設置しているが対応件数はなかった。また、認知症地域支援推進員は 3 名配置され、認知症の理解者（認知症サポーター）を増やすために、認知症サポーター養成講座開催の講師役やキャラバン・メイトを養成する研修会を自治体と協働で開催した。

2 事業実績

① 相 談

■ 相談件数（延べ）

単位：件

来所	中里 (54)	小泊 (31)	85
電話	中里 (989)	小泊 (57)	1,046
訪問			474
その他			159
合 計			1,764

■ 相談者の区分（延べ） 単位：件

本人	528
家族	488
介護サービス事業所	189
行政機関	197
警察・消防署	9
社会福祉協議会	55
民間事業者	1
医療関係機関	212
民生児童委員	9
近隣・知人	21
その他	55
合 計	1,764

■ 相談内容（延べ） 単位：件

介護・日常に関する相談	183
介護保険、サービス利用に関する相談	1,015
医療に関する相談	269
所得・家庭生活に関する相談	49
権利擁護に関する相談	41
高齢者虐待に関する相談	9
障害サービスに関する相談	33
苦情相談	0
その他	785
合計	2,384

② 包括的・継続的ケアマネジメント支援

■ 中泊町介護支援専門員連絡会

第 1 回	令和 2 年度事業計画
第 4 回	事例検討会：「糖尿病に対する意識が低い方への支援方法について」

地域関係者主催の会議	19
地域密着型運営推進会議	8
民生・児童委員定例研修会	16
合 計	43

③ 地域ケア会議の充実

■ 中泊町地域ケア会議の位置づけ

会議の名称	会議の機能				
	個別課題 解決機能	ネットワーク 構築機能	地域課題 発見機能	地域づくり 資源開発機能	政策提言機能
1 地域ケア個別会議	○	○			
2 地域ケア推進会議		○	○	○	
3 地域ケア運営会議		○	○	○	○

■ 地域ケア個別会議（個別ケースの課題解決）

第 1 回	テーマ「ゴミであふれている家の支援の方法について」
第 2 回	テーマ「便失禁による家族負担を減らす支援方法について」

■ 地域ケア推進会議（関係者で地域課題の共有・解決方法の検討、研修会の開催）

第 1 回	令和 2 年度地域ケア会議システム概要説明 グループワーク「新型コロナウイルス感染症対応について」
第 2 回	グループワーク「薬をうまく飲めていない方への支援方法～私たちにできることは～」

■ 地域ケア運営会議（町の課題と町への提案を整理・決定する）

	審議事項	決定事項
第1回	「通いの場」を地域に広げるための方法について	生活支援コーディネーターが主体となり、地域に既存するものを情報収集し、次回の運営会議で報告する
	身元保証人がいない場合の対応などを制度設計する必要がある	次回の運営会議で検討する
第2回	身元保証について	本人が意思決定できない時にどうするか今後検討する 宝寿大学などを活用し、元気なうちから自分の人生をどのように迎えたいか（人生会議）研修会を開催する

④ 指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント（要支援者・事業対象者に対して予防支援を行った）

■ ケアプラン数

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防支援	49	50	48	46	46	47	49	46	46	45	46	42	560
ケアマネジメントA	103	96	104	105	100	104	101	103	102	101	95	95	1,209
ケアマネジメントB	8	8	7	7	8	8	8	9	9	7	9	8	96
委託	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合 計	161	155	160	159	155	160	159	159	158	154	151	146	1,877

※ ケアマネジメントA：指定介護予防支援と同様のケアマネジメント

※ ケアマネジメントB：利用者の状況などにあわせて簡略化したプロセスでのケアマネジメント

行事・外出・レクリエーション

① 特別養護老人ホーム きりん館

新型コロナウイルス感染症対策として、少人数での活動を主にを行った

月	日	行事・外出・レク	利用者	家族	職員
4月	8日	お楽しみ食事会	32名		10名
	14日	おやつ買物外出	1名		2名
5月	6日	おしゃべりクラブ	10名		3名
	14日	おやつ買物外出	1名		2名
	14日	お達者クラブ	5名		2名
	28日	手芸クラブ	2名		1名
6月	12日	おやつ買物外出	1名		2名
	20日	手芸クラブ	2名		1名
7月	10日	おやつ買物外出	1名		2名
	22日	バイキング食（屋外でバーベキュー）	32名		10名
8月	11日	おやつ買物外出	0名		2名
	15日	お達者クラブ	5名		2名
9月	7日	おやつ買物外出	1名		2名
	21日	お達者クラブ	5名		2名
10月	6日	おやつ買物外出	1名		2名
	23日	お楽しみ昼食会	32名		10名
11月	6日	おやつ買物外出	1名		2名
	13日	紅葉と足湯を楽しむ会（各ユニットごと）	25名		6名
	17日	お楽しみ昼食会	33名		10名
12月	16日	クリスマス会（各ユニットごと）	34名		15名
1月	8日	手芸クラブ	2名		1名
	15日	お達者クラブ	5名		2名
2月	2日	節分豆まき会	25名		5名
	2日	お楽しみ昼食会	33名		10名
	5日	足湯を楽しむ会（1号館）	9名		3名
	14日	バレンタインデーお楽しみスイーツの会	33名		7名
3月	3日	ひな祭り・お楽しみ昼食会	31名		10名
	4日	カラオケクラブ	15名		5名
	15日	屋台村	20名		3名
	16日	サプライズランチ（スイーツ）	20名		3名
	18日	足湯を楽しむ会（1号館）	10名		3名

② 地域福祉部 デイサービス

月	日	行事・外出・レク	利用者	職員
8月	3日	買物外出（金木スーパーストア）	6名	2名
	4日	買物外出（金木スーパーストア）	4名	1名
	5日	買物外出（金木スーパーストア）	10名	3名
12月	21日	買物外出（金木スーパーストア）	6名	3名
	22日	買物外出（金木スーパーストア）	7名	2名
	23日	買物外出（金木スーパーストア）	9名	3名
1月	12日	新年会	25名	9名
	13日	新年会	28名	9名
	14日	新年会	22名	9名

③ 地域福祉センター うちがた工房

月	日	行事・外出・レク	利用者	職員
5月	9日	焼きそば・ドーナツ作り	10名	4名
6月	24日	ひまわり種植え	3名	3名
	26,30日	買物外出	12名	4名
7月	1日			
8月	8日	バーベキュー	11名	4名
10月	10日	ドライぶ・買物外出	11名	3名
	31日			
11月	1日	町民祭（コロナウイルス感染予防のため不参加）		
	7日	バーベキュー（収穫お疲れ様会）	13名	5名
12月	5日	買物外出	13名	5名
1月	9日	新年会 すき焼き	11名	4名
3月	7日	たこ焼き、お好み焼きパーティ	10名	3名

本 部

1. 実施状況

1.	新型コロナウイルス対策	新型コロナウイルスが蔓延するなか、ウイルスに関する情報や感染予防対策の情報を収集し、法人としての感染予防の方針や対策を周知し、法人内で感染者が出ないように取り組んでいる。 これまで、法人内から感染者は出ていない。今後、ワクチン接種についての準備作業を進めていく。
2.	リモートへの対応	新型コロナウイルス感染予防の一環で、家族との面会、リモート研修への参加等、可能な部分からリモートを取り入れた。
3.	同一労働同一賃金	本年4月の法改正に際して給与規程を改正し、正規と非正規職員の格差是正に取り組んだ。
4.	各種補助金の申請	新型コロナウイルス関係、福祉機器関係、障害者雇用関係の補助金や助成金を申請した。 ①新型コロナウイルス緊急包括支援金（慰労金） ②新型コロナウイルス緊急包括支援金（掛かりまし費用） ③障害者雇用安定助成金 ④新しい生活様式補助金 ⑤福祉機器助成金
5.	障害者雇用	障害者職業訓練を受託。訓練生 1 名を受け入れし、訓練終了後採用した。（現在障害者雇用率充足）
6.	雇用対策	①近隣の学校訪問を実施し、生徒の応募を依頼した。 ②雇用対策として「ユースエール企業」（若者の雇用管理が優良な企業を厚労省が認定する制度）R2.12.10 認定 ③県高齢福祉保険課へ「介護サービス認証評価制度」（職員の福利厚生、地域貢献、サービスの向上に取り組んでいる施設を青森県が認証する制度）R3.2.18 認定 ④健康経営施設（職員の健康管理を実践）R2.5.25 認定 ⑤弘前医療福祉大学短期大学部との連携協定（在学中の学生を支援し雇用につなげる）R3.3.1 協定締結
7.	施設内外の環境整備	①老朽化した若宮拠点の車庫を大規模改修した ②作業の効率化を図るため、3 拠点に「業務用床洗浄機」を購入した。
8.	その他	採用 新卒：2 名 経験者：12 名 退職 9 名（うち定年退職者 2 名） 休業 育児休業取得者：2 名 傷病休業者：1 名 特別休暇 子の看護休暇：11 名 結婚休暇：2 名 妻の出産休暇：1 名 感染対策：7 名 年休取得率 90.48% 特定求職者 60 歳以上：2 名 障害者雇用：2 名 資格取得 介護支援専門員：1 名 介護福祉士：3 名 実習受入 社会福祉士：3 名 インターン：2 名 看護臨時実習：16 名